

〈市全体〉

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
家庭で			
1	45～49歳	女性	全て、女性がしなきゃいけない
結婚して、仕事は続ける、子供が産まれても仕事を続けることを望まれ今までやってきたが、やっぱり、家のこと、子供のことをするのは私、女性。町内会、子供の学校の役員もやっぱり、私、女性。これは、我が家だけでなく周りもそうだと思います。平等のようで平等じゃない。これでは、昔のように女性は家の事をしっかりこなすという、役割がまだいいのではないかと思っています。			
2	40～44歳	女性	親世代の男尊女卑の影響
鹿児島県の親族の集まりでは、男性は男性だけで固まって先に席につき、女性がおもてなしや子供のお世話を席にあとから座るとするのが当たり前で、夫婦で座ることがないことに驚きました。男性が子供との関わりが薄いのもそんなところからも感じました。			
3	45～49歳	女性	古風な考え
共働きで子育て中。結婚して17年目でやっと家事を少し手伝ってくれるようになった、主人。家事を手伝った事に対して、ありがとう。の一言を言わないと腹を立て、私を無視し始める。私はずっと家事を1人でしてきましたが、お礼を言われるのは母の日に一回だけ。家事は女性がするのが当たり前だと思っている。			
4	45～49歳	男性	ただの趣味なんだけど。。。
料理が好きで自宅でも作りますが、その為に買い物に行くと近所の知り合いなどに優しいね、などと言われる。ただの趣味なのでゴルフや釣りなどと趣味の変わらないのにやはり家事を手伝う旦那と思われて気まずい。			
5	50～54歳	女性	お正月の男女格差
私の実家では、お正月は、女性が朝から晩までご馳走を作り、男性は好きなだけ食べたり飲んだりして、しまいには寝てしまう。女性は、布団を引いたり、後片付けをしたり、明日の支度をしたり、休む間もなく働いていた。私も幼い時から、女性という理由で手伝っていたが、兄たちは何もしていなかった。毎年不平等だと感じていた。現在もお正月はそのような傾向がある。			
6	50～54歳	女性	葬儀の準備の時の話
主人の方の葬儀の時に身内の葬儀にもかかわらず動くのは女の人という雰囲気があり悲しむ間もなかった。その時、男性は飲み会になり盛り上がっていた。			
7	25～29歳	男性	できるときにできる方が
妻が仕事が忙しいときに、「家事ができずにごめんなさい」と謝ってくるのに違和感を感じた。できるときにできる方がやればいいと思う。			
8	50～54歳	女性	男尊女卑
正月は、毎年男はご馳走とお酒。女は台所で立って子供たちとカレー。			
9	45～49歳	女性	亭主関白の家で育った人
主人の家は亭主関白で、義母が家事をすべてしている。そんな状況で育った主人は我が家でも家の家事など、できない、ご飯も作れないと言う理由で、主人はあまり家事をしない。家事を学ぼうとも思っていない。料理など、できる私がするものだと思われている事に腹がたつ。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
10	40～44歳	女性	時代錯誤
夫の家は、田舎の農家で、お盆や正月は親戚一同集まります。お酒やお料理の準備など、義母は全て嫁たちに求めてきます。座る暇もなく、ずっと台所仕事です。夫も一緒にさせようとすると、男性だからしなくて良いと怒り出します。次第にその集まりが苦痛になり、不参加になりました。			
11	45～49歳	女性	高齢化社会から学ぶべきこと
年配の方と接する機会が多く、老後をより夫婦で豊かに過ごしていく為に今まで家事など一切されなかった方(男性)が、公民館で開催される料理教室など行かれ家庭でも積極的に家事をされているとお聞きしました。時代の流れの中で情報を柔軟に吸収され社会との繋がりも大切にされている姿は、自分の中の無意識にある思い込みに気付かされているからこそだと感じました。			
12	30～34歳	女性	できる嫁は我慢や苦勞をして当たり前
女は結婚前はかわいい女性、結婚後はしっかりしたお嫁さんを社会からや状況から否応なしに求められます。友人たちは夫のことを「うちの一番大きい長男」と愚痴を言っています。夫が言わないと動かない。夫たちの母は皆専業主婦。「男は家事なんてまともにできなくていい」「男の子は少々汚くてもね」と育てられ、夫自身料理も掃除もまともにできないので(もちろん子育ても)結局、妻が全部しっかりやらないと家庭がまわらない。夫を育てなおす余裕もない。子どもを産み、育て、夫を指示、夫の世話、家計管理、仕事(正社員夫と同じくらい稼いでくる)、近所義実家親戚づきあいと仕事だけでも大変なのに、女だけに求められることが多い。若い人たちが躊躇し、少子化になるのは当たり前なのではと思います。			
13	20～24歳	女性	女は料理ができないと嫁にいけないだ？
職場の飲み会(若い人は飲み会は三年間は断るなど言われています)で、若い新人女性職員に対して、中年男性上司たちがよってたかって「女性は料理ができないと嫁にいけない」「お父さんにも料理を作ってあげないと」とお説教していました。若い男性職員には料理については「彼女に手料理を作ってもらってるか？」と質問。なぜ、女性ばかりが料理をしなければならないのでしょうか？しかも手料理。飲み会で、男性たちは座りっぱなしで、女性が料理のとりわけをしないと「女なのに気がきかない」と言われます。鹿児島市から若い女性が逃げ出すのがわかります。			
14	20～24歳	女性	女性は便利な使用人
男性たち(20代から40代)が酔って女性談義をするのを聞きました。女性には正社員で共稼ぎプラス無料の介護要員、家政婦、保育士、ホステスの役割を当たり前のように期待する会話に花が咲いていました。令和で比較的若い世代でも、鹿児島市は田舎のせいかこの認識かとうんざりしました。本人たちは自分の親の介護をする気はゼロ。家事分担もごみ捨てくらいなら手伝うかなと言っていました。パートナーは母親ではありません。そもそも「手伝う」という言葉を使う時点で、当たり前女性にいろいろするという認識でおかしいです。			
15	35～39歳	女性	自分の体調よりも、息子の男としての立場を守ろうとする祖母
祖母は90才で、最近体調が悪いことも多い為、同居する叔父(祖母の息子)に、ごみ捨てだけでも頼んだら？と言ったところ、「男はごみ捨てなんてするもんじゃない。自分の息子にそんなみっともないことさせられない」と言い張り、93才になった今でも、叔父と二人暮らしの家で全ての家事を一人でして、性別による思い込みを変えることは簡単ではないと感じました。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
16	65～69歳	男性	子供の頃からの経験
<p>男子厨房に入らず、という事を子供の頃より聞いており、料理・家事全く経験無く時が過ぎましたが、今では料理・家事等する機会が多くなったのですが、知識が少なく思う様にいかない現在です。子供の頃から経験等あればスムーズに行動が出来たのではと感じております。</p>			
17	40～44歳	女性	親世代の男尊女卑の影響
<p>初めての出産や子育てで、障害もあり夜泣きが多い子供の育児は想像以上に大変でした。私はほとんど眠れてないけど、仕事している主人は休日に爆睡して起きてこないのが当たり前で、それは、実家でそのような父親像を見てきたからだと思いました。夫と家族会議し、乳幼児を育てることはどういうことがあるのか、一から説明して助け合うよう話し合いの場を作り、事細かに説明しました。少し理解はするが、妻側に任せた方が楽だという感覚は抜けなかったのが透けて見え、県外出身の私の感覚では、鹿児島は男女分業(男尊女卑)の意識が強いと感じました。</p>			
18	40～44歳	女性	妊娠出産への関わり方の差
<p>初めての妊娠の際、主人が妊婦健診に付き添ったのは1.2回でした。自分自身産むのは私だからと思っていましたし、主人は仕事があるし&男性だし産婦人科は居心地悪いだろうからという思い込みがありましたが、今になって思えば共に子育てをする上で妊娠中から夫婦で親となる自覚と覚悟をもつために健診に同行してもらえばと思いました。</p>			
19	45～49歳	女性	子供の親は私だけ？
<p>私も仕事をしていますが、子供の体調不良は、私が仕事を休み、夜も看護です。お母さんがいいよね…と…子の世話は苦痛ではないですが、職場に休みをお願いするのはストレスです</p>			
20	50～54歳	男性	妻任せで苦勞をかけてしまった
<p>仕事が忙しかったとき、育児もピークで、同じようにフルタイムで働いていた妻に、任せてしまうことが多く、負担をかけてしまった。</p>			
21	45～49歳	男性	父親が参加しにくいPTA
<p>学校のPTAに父親である自分が出席したが、周りは全員お母さんだけだった。男は私1人で周りのお母さん達との会話に中々入れず、いたたまれない気持ちになったことがある。PTAに出席するのはお母さんの役割という意識が、多くの家庭であると思う。</p>			
22	35～39歳	女性	親世代との価値観の違い
<p>私たちの親世代からは、夫が子供を抱っこひもで抱っこしていると「面倒見がいいね」「イクメン」「昔だったら父親が抱っこするなんて考えられない」「あなたは楽できていいわね」などをよく言われました。</p>			
23	30～34歳	女性	世代間での考え方の違い
<p>初めての子供が生まれ、夫と協力して育児を行っています。それを見た母には、私達の時はそんなこと無かったのに余裕があっていいわねと言われ、祖母にはあなたは家で何をしているの？と言われました。今の状況を1番応援して欲しい家族に、育児や家事を夫婦で協力することを理解してもらえないのがしんどいです。そのため、なんとなく夫以外の家族に頼りたくても頼りにくい現状となっています。</p>			
24	35～39歳	女性	子どもの看病は母親の仕事
<p>子どもが病気になった際に、男性が長く休みをもらおうと「奥さんが看病したら？」と言われていた場面に遭遇したことがある。</p>			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
25	20～24歳	女性	妊娠してからの変化
家事は女がやるのが当たり前だと思っている人が周りにいた。妊娠した時、もともと外仕事で配達をする仕事をしていたのに、妊娠がわかった次の日から急に事務仕事をやらされた			
26	55～59歳	女性	男女共に身に染みついた差別感覚
子供が熱があっても休みを取るのは母親の方だと強い固定観念が自分自身あり主人に相談さえしなかった。			
27	65～69歳	女性	男女平等は家庭の子育てから。
娘は2歳の子をもつ専業主婦ですが、夫の育児参加がほとんど得られず、悩み抜いてお義母さんに相談しましたが、相談内容に理解が得られず、婿に対する助言も無かったようで、現状のまま何も変わらずの生活が続行中です。私は結婚こそ男女共同と考えていますので、婿に何度も「腹割って話そうや」と凄んでますので、嫌われています（笑）			
28	45～49歳	女性	私の思い込み
職場の男性が、子供さんの発熱が理由で早退した事があります。奥さんはいないのかなと思った自分がいて、育児＝女性と思い込んでいるんだと自覚しました。			
29	35～39歳	女性	子供の好きな事（遊び）
元夫は長男に対して「男なんだから人形遊びをするな」や「絵を書くな」と言っていた。長男は大きくなり絵を書くのが好きでイラストレーターを希望している。夫と離婚し、好きな事をやらせられるようになり良かったと思っている。			
30	45～49歳	女性	男だから女だからだけでなく一個人
花柄やレースのついた服は「女の子」、ピンクや赤は「女の子」。おままごとが好きなのは「女の子」。そういう偏見に縛られずに良い子を育てるつもりだが、「男の子なのに花柄着るの？おままごとが好きなんて！」と声をかけて来る方がいる。刷り込まないでほしい。			
31	70歳以上	男性	男は黒で、女は赤
デパートでの新一年生を迎える孫に、祖父らしき初老の男性が発した言葉。「●●ちゃんは男の子だから黒のランドセルだよ。」との意識。			
32	30～34歳	女性	母親でも働きたい
本当は外で働きたいが「男で子どものために仕事を休むやつなんていない」と夫は思っているので、子どものことは全て母である自分がやらなければならない。子どもが体調をくずした時に、夫が休むという選択肢すらないので、外で働くことは無理だと感じている。女でも本当はもっと働きたいし、それで子どもが寂しくならないよう父親にも休める環境を作ってほしい。			
33	40～44歳	女性	PTAもトップは男性、細々としたことは女性
小学校のPTAの話し合いはほぼ母親が参加しています。父親がまれに参加している家庭もあります。しかしながら、PTA会長はここ数年、男性です。			
34	50～54歳	女性	結婚って・・・
夫は家のことは何もせず、子供の事も協力的では無いため、ほぼ1人で子供を育てている状態です。仕事帰りも遊んで帰ってくるので夜中に帰ってきます。言えば嫌な気持ちになるので何も言いませんが、結婚している意味があるのかなと思います。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
35	45～49歳	女性	子育てについて（父・母の負担の違い）
<p>子どもが生まれ、職場復帰しましたが、保育園に関することはほぼ母親がするしかなく、子どもの体調不良時も仕事を休むのはいつも母親。私の方が休みを取りやすいというのがありますが、社会的に見て、父親は全体的にどのくらい育児に協力できているのかなと感じることがあります。</p>			
36	55～59歳	女性	ありがとう、婿さん。
<p>私の娘は、先に子供ができて結婚しました。婿は福岡出身で当時学生でした。子供が生まれて、しばらく同居することになり、子育ては大変になることを覚悟していました。ところが、婿がミルクやオムツ替えなどすごく頑張ってくれていました。娘は出産後半年で仕事に復帰し、その後も婿が子育てを引き受けてくれ、今では孫はパパが大好きです。最近、ちょくちょく福岡へ孫と帰っているようです。自分の、福岡出身で小さい子供との触れ合いもあまりないのに大丈夫かなと思ったことに反省しました。</p>			
37	35～39歳	男性	連絡
<p>共働きで保育園等の呼び出しで行くのは大体奥さんで、仕事上頼む事が多い。こういう時に男性も行きやすい環境だとお互い負担が減ると思います。</p>			
38	55～59歳	女性	
<p>80代の父親から、遺産はすべて長男に渡すが、介護は娘がしなければいけないと言われ、理不尽さを感じた。</p>			
39	65～69歳	女性	親の介護
<p>女性が親の介護をするのが当たり前だった。</p>			
40	30～34歳	女性	女は苗字を変えるのが当たり前（嫁！）
<p>結婚したら苗字を変えるのは女性のほうだと当然のように相手に思われていました。仕事に支障が出るためできれば変えたくありませんが（旧姓の通称使用だと税金関係の手続き、銀行口座関連）相手は長男なので、悩んでいます。また、義父母になるかもしれない人や夫からみて叔父にあたる人（独身）たちに、「嫁が来たら介護は安心」と言われてモヤモヤしています。女は今も、夫になる人の家に「嫁」に入るという意識は苗字が変わるせいでもあるのではと思います。</p>			
41	35～39歳	女性	結婚をしていない女は問題のある変わり者
<p>「結婚＝女の幸せ」「独身女＝変わり者・我儘」「結婚している＝人格的に欠けたところのない人」「女は結婚して子どもを産んで一人前」と近所の中高年男性女性の方たちに、友人（30代女。都市圏から移住組）が会うたびに言われてうつ状態になり、都市圏へ戻る事を検討しています。初対面からずけずけと「あなた、独身？」と確認され、「独身だと信用がないから」と言われ、「早く結婚しないと」「嫁に行き遅れてる」「一丁前に選んでるんでしょ。適当なところで早く手を打たないと」とプライベートに土足で踏み込んでくる人が一人や二人ではないことに驚きます。（せっかく都市圏から移住してくれても、意味がない。鹿児島市はいいところなのに、若い人たちが逃げていく・・・）</p>			
42	55～59歳	女性	おじいちゃんのアンコンなお節介
<p>私には東京在住の30歳の娘がいます。正月に実家に帰るとよく義父から娘はまだ結婚しないのかと聞かれるのですが、今年の正月に東京で就職させるから結婚しないのだ、早く仕事を辞めさせて鹿児島で結婚させた方がよい、と言われました。正直そんな考えの人が未だにいることに驚くとともに娘が鹿児島に帰ってきたがらない理由がわかる気がしました。ちなみに東京に住んでいる息子には一言も何も言いません！</p>			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
43	30～34歳	女性	結婚しなきゃダメですか？
介護職をしていて利用者から「早く結婚しないの」や「次は自分の番」（後輩の結婚式の後）といわれるが、男性にはあまり言わない。結婚するのが当たり前みたいな空気を感じてしまい、しんどくなるが、自分も他者へ同じようにしているのではと考えるきっかけになった。			
44	70歳以上	男性	親自身の問題と子ども自身の問題との区分
ある経営者から聞いた言葉「男は結婚して家庭を持って一人前だ。結婚しないと会社の経営者としての後継者としても他人から見下される」親として後継者である子供に対する言葉だが、子ども自身の問題に踏み込みすぎの感があると感じた。			
45	50～54歳	女性	鳥かごの中の鳥になった私（結婚前に働いていた上司と結婚後の再会時に言われた）
結婚後、モラハラ、DV傾向の強い夫からは（正社員として）仕事に出ることを制限され、やっと見つけた仕事（パート）に対しては「主婦は遊びみたいな仕事しかできない」とバカにされることも多いです			
46	45～49歳	女性	幸せとは
「結婚して子供を産んで母親になることが女性の幸せ」それが普通で、当たり前と思って生きていました。人生の先輩方からも、そう言われてました。適齢期より遅く結婚し、不妊治療の為に退職せざるを得ず、私自身が思っていた当たり前の世界から外れて、夫とふたり生きています。現在、私自身は「男性・女性はこうあるべき」とは思っていませんが、家庭でも職場でも、身体に染み付いている習慣のような事は多いと思います。若い世代の方達の柔軟な考え方に触れる事で、私自身の考え方をアップデート出来たらと思っています。			
47	30～34歳	女性	女は子どもを産んで一人前
私は癌の治療中で子どもは産めない状態なのですが「女は子どもを産まないで一人前でない」と中高年、老人たちによく言われます。近くの温泉で話しかけられる時も「お子さんは？」とあいさつのように言われます。不妊治療中の友人はうつになりました。職場でも私生活でも「女性は子供がいて当たり前」に囲まれると、後輩たちも結婚出産を迫られて押し付けられて、息が詰まる、やっぱり鹿児島市は意識が田舎だ。強制されるのが嫌。都会に転職して出ていくつもりと言っていました。東京はそんなこと言われることもないと鹿児島市を出ていった友人も言っていました。			
48	35～39歳	女性	幸せは社会や他人が決めるもの？
「子どもを産んでいない女は未熟。人間的に問題がある。子どもを可愛く思えない冷たい女よ」「女の幸せは、子どもを産むことよ」「産んじやえばなんとかなるわよ」と60代のパートの中高年女性たちが、20代の若い女性社員に教諭するように喋っていました。若い女性はため息をついて、その後私のところに来て「だから田舎（鹿児島市）は嫌なんですよ」「重い病気や障がいを持った子どもが生まれてきたって、おばちゃんたちは助けてはくれないし自己責任でしょ」「早くお金貯めて東京行かないと」と言っていました。価値観を押し付けるのではなく、それぞれの人生を尊重することができないものかと私も思います。			
49	30～34歳	女性	不妊は女性だけではない（男性側も有）
鹿児島市でも人口が少ない地域（過疎高齢化地域）に一時期居住していました。独身だと「早く結婚しないと」と町内会でも言われ、結婚してからも「子どもは？」と女性である私だけ（夫には言わない）におばあさんおじいさんおじさんおばさんたちに言われ続けました。子どもの問題に口を出されるのも嫌でしたが（だから人口流出するんですよ）女性だけが言われるんだな、なぜ男性側には言わないのかなと思いました。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
50	30～34歳	女性	性別にも個性はある
<p>持病などで子どもを育てる自信がないのと私自身あまり子どもが好きではないため夫婦で納得して結婚しました。社交辞令的なもので子どもがいるか聞かれますがいないと言うと子どもがいなくて寂しくないか、子どもはかわいいよ、などと言われ一時期は精神的に参ってしまいました。最近は乾いた笑いでスルーできますが、女性は全員子どもが好きというわけではないし、結婚と妊娠・出産はセットではないというのをわかってもらえないのはつらかったです。</p>			
51	60～64歳	女性	夫と妻の格差
<p>義母から夫から先に食事をさせなさいと言われてたり、実際、義母自身もそのようにされているのを見てきました。</p>			
52	50～54歳	女性	結婚後の家族の在り方
<p>結婚後、父親から嫁は義実家を優先するべきだと言われた。</p>			
53	35～39歳	女性	義両親との同居エピソード
<p>結婚して、家を立てるときに義両親に長男の嫁に来たのだからと言われて同居するように言われました。義両親とは、仲良くしていたが、一緒に住むことは、抵抗があり、断ったら疎遠にされてしまった。</p>			
54	55～59歳	女性	長男の重み
<p>主人が長男で、ずっと義父母に何かと長男だからと言われていた為、自分の子供にも何度か言ったことがあり、負担をかけたかもしれません。</p>			
55	30～34歳	男性	「女のくせに」=期待されている役割をしろ
<p>弟は長男のため親に意見をしても何も言われません。しかし私は理不尽なこと（私だけ親の介護を将来するために結婚しても近くに住むように言われている。弟は一切しなくていい）に対して「ぎを言うな」「女のくせに」「女なんだから黙って従え」「女だから当たり前だ」と父親に言われます。男が女に怒鳴れば言うことを聞くとも思われています。</p>			
56	40～44歳	女性	脈々と受け継がれるジェンダーバイアス
<p>毎年誕生日に、義父から誕生日を祝う言葉と共に必ず「良き母、良き妻として精進して下さい」と付け加えられています。良き母とは、良き妻とは何なののでしょうか。嫁（女）にだけ課せられる見えない鎖が、毎年この言葉を投げかけられる度かけられる様な感じを受けます。</p>			
57	50～54歳	女性	夫と姑の強い固定観念
<p>結婚する以前はあまり感じたことはありませんでしたが、結婚してから主人やお姑さんの「女性は～あるべき」「男性は～あるべき」という意識があまりに強く、家事・育児は全て女性、4人の親の介護も女性がするのが当たり前。男性は浮気をしても当たり前。様々な事を我慢して生活してきました。33年間そういう暮らしでした。娘たちには、同じ生き方をしてほしくないと感じています。</p>			
58	45～49歳	女性	共働きの理解度の低さ
<p>結婚が決まった時、義母から仕事は続けるのか？と聞かれていると主人から聞いた時に、まだまだ女性は結婚したら家庭に入るといった認識が高いのだと感じ、あまり気持ちよく感じませんでした。</p>			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
59	55～59歳	女性	夫婦間の姓/両親の子育て参加は経済的な余裕が、必須
<p>双方の両親共に共働きに賛成派で子育てにも積極的に参加してもらった。数年前に個人的な理由で夫の姓から妻の姓に変えた時は 周りの反応で悩む事は無かったが 義母は最後まで長男なのに、と理解に時間が掛かった 男性が女性の姓に入る事はまだまだ一般的では無いのかもしれない 夫婦別姓でも良いのでは？手続きなど面倒な事は女性に負担が多い気がする</p>			
60	40～44歳	女性	相続（土地）問題
<p>3人きょうだい（男女女）で、親の土地に娘が家を建てたら、近所の人たちから、息子がいるのに女が親の土地をもらった…などと言われ、「男にはもっといいものを継がせるべきだ！」と周りが親に言っていた。</p>			
61	45～49歳	女性	男だから女だからだけでなく一個人
<p>子供が生まれた時に、「男の子でよかったね」と言われ、女の子でも男の子でも嬉しかったのに・・・と思い「なぜですか？」と聞いたら、「後継ができたがね」と言われました。家制度根深いと思いました。</p>			
62	70歳以上	女性	男にこだわりすぎた
<p>私の叔父は事務所を経営していた。跡取りは男と考えており、出来の良い長女がいるのに、長男にこだわって結果跡取りはいなくなった。</p>			
63	40～44歳	男性	家と男女不平等
<p>私は兄弟がいますが、結婚したら、女性が男性の家に入るという考えをよく聞きます。</p>			
64	60～64歳	女性	男の子ならよかったのにねえは残酷
<p>公園で、60代くらいの女性が、親族なのかは不明ですが、4～5歳くらいの女の子の手を引いている30代くらいの母親に「男の子ならよかったのにねえ」。無邪気にニコニコと、世間話のように言い放つのがたまたま聞こえてしまい、衝撃を受けました。他人の私が割って入るわけにもゆかず、いたたまれなくなりました。周囲から望まれない性別であった、という大人たちの意識が、どんなにか、その少女の心を傷つけたことか。その年配の女性も同じことを言われたのでしょうか。お母さんは年配の女性の発言をがまんしていたのでしょうか。</p>			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
職場で			
65	35～39歳	男性	職場の男性と女性の役割
職場で若手の男性という理由で掃除はいつも雑巾がけやエアコンフィルタ、換気扇等の掃除をしている。女性はモップしかしない事もある。営業や残業になる仕事は男でなければと負担が増えている。また新入社員の教育も丸投げで一から十まで指導を一人でしなければならぬ			
66	35～39歳	男性	職場での不平等
接待や会社行事は男性という風習が理不尽だと感じている。			
67	55～59歳	女性	主要業務は育児中の女性には任せられない？
育児期間中だから、という理由で、自分より若い男性職員に主要な業務の分担を振りかえられそうになった。女性の上司から			
68	25～29歳	女性	現場作業
女性は現場にあまり行かせてもらえない傾向にあります			
69	45～49歳	女性	男女平等？
同じ職場で女性は家庭があるから男性が代わりに出張に行かされた。（男性にも家庭があり子どももいるのに）男女平等であるはずなのに。女性が優遇されている。			
70	40～44歳	男性	お互いさま
仕事内で力仕事と言われることに関しては意識的に男性がする風潮があります。			
71	55～59歳	男性	それ、私の仕事なの
デイサービスに勤務、これまで、男性が運転、女性が料理の分野を担当し、男性女性の性別で業務分担をしているのに、違和感を覚えています。男性は、運転が上手い、女性は料理が得意という先入観や価値観にとらわれ業務内容に性差別を感じています。お互いに性別や年齢差の違いを認め、その人の歴史や人生観の相違に気づき認める勇気が必要だと痛感しています。			
72	25～29歳	女性	女は女同士で解決しろ（男は関係ない）
職場では「子持ち女性のフォローは同じ女性がして」となっています（正規職員です）仕事自体性別は関係ない業務なので、男性も子持ち女性のフォローをしても良いはずなのですが、「同じ女同士で協力し合ってくれ。女同士のことに男を巻き込むな」と言われました。そのせいで、子持ち女性が急に休むと若い独身女性が残業をする（しかも残業代がろくにでない）ので、職場の分断が深まり、若い女性が「鹿児島は（すべてが昭和過ぎて）遅れている」と辞めて都会に転職してしまいました。「子どもがいる女性のほうが、子どもがいない女性より偉い」という周りの差別も、若い女性にはきつかったそうです。			
73	55～59歳	女性	誰がやってもいいですよ！
仕事(指導員)にて、利用者のティータイムの準備(お茶、菓子)だいたい私が行う事が多く、利用者の介助で、それができない時、男性スタッフは、利用者を見守っているだけで行動してくれない時、残念に思う。			
74	45～49歳	男性	男女間の作業の違い
仕事において「〇〇(重い物の持ち運びなど重労働)は男性の方をお願いします。△△(記録などの軽作業)は女性の方をお願いします」と言われ、細身で腕力のない私は軽作業を希望していたが、圧力をかけられたことがある。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
75	30～34歳	男性	組織の中での平等とは？
腰が悪い役職（50代）が女性のパートに物を運ぶ指示を出した時、女性にものを運ぶという指示をした件で上から指導され、その結果役職持ちが物を運ぶ作業をしているのはおかしいと感じた。会社で最年少で、1番下の役職を持っていた男の自分はこの会社でやっていけないと感じた。			
76	25～29歳	男性	外見で判断するな。
身体が弱いのに関わらず力仕事をさせられたりした事がありきつかった。			
77	25～29歳	女性	男性の子育てに対する意識
子どもが生まれ、私は当たり前のように育休をとりましたが、旦那は仕事柄育休を取りにくい環境にあり、平日も早くに出勤、遅くに帰宅で、ほぼ、ワンオペ育児になりつつあります。一緒に子育てをするという意識を社会全体に広めると共に、本人も意識して欲しいと思うばかりです。男性の育休取得率は上がってきてはいますが、もっと当たり前になってほしいです。			
78	25～29歳	男性	男性の休暇取得
初めての子供が生まれた際、子供や奥さんの誕生日に休暇を取ることにに対して、嫌味を言われる事があった。			
79	45～49歳	男性	男性の育児休暇
男性の育児休暇を取得したかったのですが、まだ、育児休暇は女性という雰囲気があり、育児休暇取得を希望しても冗談にしか受け止められなかった。			
80	45～49歳	男性	職場の人事
会社より、奥さんがいるなら介護は大丈夫だなと言われた。介護と育児とやらないといけないことは多い。転勤を率先する目的ではよくないと感じた。			
81	45～49歳	女性	社会の偏見
子どもの学校行事や子どもが病気の時など仕事を休んで参加したり、病院へ連れて行くなど女性が当たり前になっている。子どもの入学式で夫が仕事の休みを申請した時、上司に嫌みを言われた。			
82	35～39歳	男性	育児休暇
男性の育児休暇は取りづらい空気がある。			
83	50～54歳	女性	出産という身体的な差は女性の社会進出の邪魔をする。（でも、女性にしか体験できない尊いもの）
勤務先の会社は一部上場している会社だが、役職のついた女性は男性に比べて少ない。役職のついた女性は結婚していない。女性しか出産できないためと感じる。出産は女性の会社での出世には物理的にも無理だと頭の奥で感じる。自分の会社では、男性の育休は1週間ほどの形だけで、長期取得者はいない。長期で取得すると、周りに迷惑がかかる印象が拭えない。民間企業はそれほど人員に余裕がない。上2つは、最初から頭の中で無理とわかっているもの。健康な男性の方が、継続的に頑張れて出世するのも当たり前と感じるのは社会から学んだ自分の無意識の思い込みなのかも分からない。			
84	55～59歳	女性	理想と現実とは程遠い
私は独身女性です。職場で、結婚し家事育児がある女性に対し、「忙しいだろうから」と休みや時間、仕事内容に必要以上に気を遣っている自分があります。私もご本人も周囲もそれが普通と思っているので、社会的にまだまだ女性が家事育児介護を担うという思い込みがあり、実際それが当たり前な社会であることが現実だと思っています。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
85	35～39歳	女性	社会の現実
子供が生まれたばかりなのに育休（男性）が3日しかなかった。社内規定に明確な記載はなく、同調圧力で復帰せざるを得ない様であった。時短も給料が下がるのでせず、フルタイム+残業をしていた			
86	55～59歳	女性	「結婚をしているもしくは子供がいると忙しいのか？」
職場で「〇〇さん（私）は結婚もしていないし、子供もないからヒマでは」と言われ役員の仕事等を押しつけられた。			
87	50～54歳	女性	家庭でも職場でもみんなで子育てに参加しよう
子供が病気になった時に、仕事を休まなければならない。女性の方（母）が当たり前の様に職場にお願いして休んでいる。			
88	50～54歳	男性	
看護師を職業にしていますが、女性の多い環境で、子供が居る方が多いです。子供が発熱すると、女性が早退されます。休日も、土曜、日曜、祝日を平等に師長さんは努力されていますが、子供のいる女性が優遇されません。男性にも平等にしてもらいたいです。子供との時間がほしいと思うのは男性も一緒ではないでしょうか。			
89	45～49歳	女性	産後の仕事復帰の時期について
産後半年や1年で仕事復帰すると『子どもが可哀想』と言われる。女性の社会復帰は望まれていないのかと悲しくなる。			
90	40～44歳	女性	本当はわたしも子育てしたいのに言えない
30代独身女性というポジションは、仕事を任されることが多くキャリア形成は充実していましたが、モヤモヤが残りました。それは、新婚の女性に対しては仕事が偏らない配慮、子育て世代の男性は家庭を理由に大きな仕事を断れる状況を目の当たりにしたからです。本当は子育てをしたいのに、出会いの場に出る余裕がなくなるほど仕事を多く任される女性にとっては、本当に公平なのか疑問が残りました。独身女性だからできらうと、与えられた仕事に責任もって取り組むほど、任される職務が重くなり、出会いの場に出られる時間が削られ、あっという間にアラフォー独身。婚活市場では厳しい年齢です。			
91	40～44歳	男性	父も、看病を率先したい。
子供が小さい時に看病等で休みを取りたかったが、男性という理由で休みの申し出をできなかった記憶がある。			
92	50～54歳	女性	共働きの意味
共働きで子供が病気の時、母親が仕事を休むだろうという固定観念がある。			
93	20～24歳	女性	女性の昇進について
初めて入社した会社でこの方は女性で初めて役職がついた方だから凄いぞという男性の発言を聞き、女性の社会地位がこの会社は低いのかと思い辞めました。			
94	35～39歳	女性	平等な評価してくれない
夫婦同じ会社に勤めております。そろそろ昇格があるかと思っていたところ、夫婦同時に昇格だご主人のメンツがという会社側の訳のわからない理由で私の昇格はなくなった。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
95	40～44歳	女性	古い男尊女卑の価値観
<p>会社で直属の上司(上司Aとする)の勤務態度、部下への対応等をその上の上司に相談した際に、「上司Aをリーダーから下ろそうか、〇〇部署って他に男性いないんだっけ?」と言われた。上司Aの足りないところを補い、部署を回しているのは実質、女である自分だったのに、女性というだけで、リーダー候補にも上がらなかった。いまだにこんな古い考え方の管理職しかいない会社に絶望した。</p>			
96	50～54歳	女性	組織的アンコンシャスバイアス
<p>我が社は女性の登用が比較的進んでいると見えているが、実は、営業部門では性別を問わない同等の実績を残しても、トップの指揮を直接仰げる経営企画や、組織運営の中核である人事や秘書などの部署では、女性が統括的な管理職として配置されることはない。社内で「あそこは男性ポスト」というフレーズが定着し、表立った違和感が醸されていない現状は、我が社の組織的なアンコンシャスバイアスだと思う。或いは、意識的にアンコンシャスを装ったパフォーマンスなのかもしれない。</p>			
97	55～59歳	女性	
<p>以前働いていた職場では、幹部と呼ばれるグループは男性ばかりでした。男性は2、3年働いていただけでも評価され役職がついていたりしていましたが、女性は10年働いても幹部に気に入られなければ役職もつきませんでした。こんな職場だと、どんなに頑張ってもやりがいを感じないと思い退職しましたが、そんな職場がまだまだたくさんあると思います。</p>			
98	55～59歳	女性	男女の差別
<p>仕事上でこれ以上の昇級、昇進は無いと面談で言われ、今までの努力は何だったのかと落ち込みました。</p>			
99	55～59歳	女性	男女差別
<p>あなたが、いくら頑張っても女性のあなたを私は社員にすることはしない。なぜなら我社には女性の社員枠は無いからと言われ会社を辞めた。</p>			
100	25～29歳	女性	
<p>正社員として働いていますが、職場がとにかく旧体系です。女性は男性よりも低い地位だとみられており、会議などで意見すると「義を言う女」と吹聴されます。また、どんなに優秀でも女性は昇進できず、パワハラ・セクハラで謹慎を受けた人でも男性なら無条件に昇進できます。正当な評価が得られず、日々怒りを感じています。性別に関係なく、皆が能力に応じて平等に評価され、活躍できる社会になってほしいです。</p>			
101	35～39歳	女性	掃除一つでも感じることもあるんよ
<p>部署の中で女性は私だけ。自分だけがトイレ掃除をしてる。そういう小さいことだけど、毎回なんで女性だからって場所の中で自分だけがトイレ掃除に行かないといけないんだろう、男性もすればいいのにと思ってるその間に大事な話や1日の流れなどの申し送り事項を話ししてたりすることがあるので、自分って不必要なのかなと思ったりする</p>			
102	60～64歳	男性	時代錯誤の思い込み
<p>職位の上の人に対する、お茶出しなど、慣例的に女性職員が行っており、それがその職場のしきたりと思い込んでいたが、その上席からそのような対応は、必要ないと言われ、再認識した。</p>			
103	45～49歳	女性	役割格差
<p>職場で「毎日のゴミ集めは女性職員の仕事だから」「トイレ掃除は女性の仕事」「事務は女性の仕事」女性男性問わず役割への思い込みや強さ、アンコンシャスバイアスが発言に現れていると感じることがあります</p>			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
104	30～34歳	女性	水事場は女性だけのテリトリー？
職場の給湯室の掃除は、女性職員にのみ割り振られている。自身は転職し、今現在この職場で働いていないが、この状況に誰も異を唱えず「与えられた仕事」として黙々と行っていることにとても違和感を感じた。			
105	25～29歳	女性	電話対応における男女差別
代表電話の対応をしていて、高齢女性の対応をしていた時に私が女だと分かるとすぐに「男性の方に代わって」と言われました。私自身でも対応ができましたが、若い女性に対応されても頼りないと思われたのかなと残念に思いました。女性にも少なからずそういった差別意識があるのだなと感じました。			
106	40～44歳	女性	産まれた瞬間から男女の格差有り
仕事柄、年配の方のお相手をすることがあるが、女性は事務員のように扱われ男性に代わってほしいと言われることがたまにある。			
107	50～54歳	女性	今なおある男女差別
販売業をしていた時、店長をしていましたが商品のことを聞かれる際年配のお客様が男性の店員はいないのかと言われることが多く女性だと信用されにくいのだと実感することが多かったです。アルバイトでも男性だと安心するのか話しかける方がいたので男女差別がまだあるのだと残念に思いました。			
108	50～54歳	男性	上司の考え古くない！？
会社の受付業務の女子社員が開発に移動してバリバリ働きたいと言っていたので、上司にヤル気があるし、頑張らせてあげて欲しいと進言したが、「可愛い女子は受付が一番」と却下された。それでイイのかウチの会社…と残念な気持ちになった。			
109	30～34歳	男性	私と上司の理想像の違い
プロジェクトマネージャーを務めていた際、「優しすぎる男性」として見られる場面がありました。会議や現場で「男性なのに細やかな気配りができて珍しい」と言われたり、「もっと強くリーダーシップを発揮してほしい」と期待されることが度々ありました。私は対話や協調を重視し、チームの意見を尊重することで成果を上げてきたつもりでしたが、「男性はこうあるべき」という無意識の思い込みが根強く存在し、優しさや配慮が時に「頼りなさ」と受け取られることに戸惑いを覚えました。この経験を通じて、性別によるアンコンシャス・バイアスは、男性にも「強さ」や「主導性」といった枠を押し付け、多様な個性やリーダーシップの形を狭めていることを実感しました。性別にとらわれず、それぞれの強みが認められる社会の必要性を強く感じています。			
110	25～29歳	女性	仕事はできても結婚してないと完璧じゃない
女性管理職登用と言われる昨今ですが、私の所属部署の管理職も女性になりました。とても仕事ができる人で、尊敬する人柄だったのですが、他の男性管理職たちから「仕事はできるけど、まだ結婚相手はいないの？」「このまま仕事が恋人なの？」「女としてどうよ？」「独身貴族でいいねえ」「お手柔らかにお願いしますよ」と揶揄されたり、男尊女卑が本当にひどいでした。逆に家庭持ちで、仕事ができない男性が男性管理職でも、何も言われません。私の女性上司はうつになり退職しました。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
その他			
111	40～44歳	男性	女性だからと決めつけている人に対してそれを否定できない自分の歯がゆさ友人が運転する車に同乗していた際に、駐車場で前の車がなかなか駐車できないのを見ていた友人がふと「運転手は女の人だね。だからあんなに下手くそなんだ」という発言を聞いて、心の中では「男女で運転技術が決まる事は無いのに」と思っていながらも言い出せない自分がいた。
112	45～49歳	女性	挨拶は得意？ 保護者会の挨拶の役割など、男性がいたら、男性に頼んでしまうことが多かったように感じる。男性の方が得意だと思いがちだった。
113	30～34歳	女性	夫の本音 5歳の息子が癪癪をおこし泣きわめいていた時に、主人が「男なんだからいつまでも泣くな！」と発言した事がありました。主人と私は同い年で、今まで価値観に多少違いがあっても気になる事はありませんでしたが、その言葉はずっと引っかかっています。
114	18～19歳	女性	女性とピンク 黒色のヘルメットを被って自転車に乗っていたら、顔見知りの男性とヘルメットの話になり、やっぱり女の子は黒よりピンクがいいよねと言われて少しモヤっとした。私は黒が好きだから選んだのに…と思った。
115	65～69歳	男性	儀式等における席順について いろいろな儀式、特に葬儀等の場合に、年齢や親族としての近さに関係なく、男性が前列で女性が後列に着席することがあった。自らそれについて意見を述べるということはなかったが、今後、そのような男女による並びにとられるべきではないと思った。
116	25～29歳	男性	ピンク ピンク色の服を着たら笑われた。
117	40～44歳	女性	男の子だから女の子だから 私の母が5歳の息子に「男の子なんだから泣かない」と言ったことがあり、息子はそれをずっと覚えており「なんで男の子だからって泣いちゃいけないんだ」といまだに言います。男の子はこうあるべき、女の子はこうあるべきという考え方は苦しめてしまう言葉なのだと思います。
118	50～54歳	女性	戦後何年経てば… 女はいいよな。楽な仕事ばかりだし、なんでも許されてと、知り合いのおじさんが言っていたのを聞いた時、女性を下に見てるんだなと感じた。
119	65～69歳	女性	偏見のない社会をめざそう 高校生の孫（男の子）がオタク気質なのか女の子のマンガのフィギュアやキャラクターを集めていて男のくせにと違和感を持ったことがあるけど、自分なりに考え直してこれもこの子の個性なのだから否定することはやめようと思いました。今では一緒に楽しんでいます。

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
120	40～44歳	答えない	介護も仕事も両方して余裕がありますか？
<p>仕事の繁忙期に親の急な入院で、忙しすぎてストレスMAX（職場に迷惑はかけず、死ぬ気で仕事はこなし）、突発事態の対応で夜中に食事をとることが増え、体重も増加。抜け毛も増え、休みの日がつぶれて行きたくても白髪を染めに行けず、髪の本根がうっすら白いことがひと月ありました。（なお、接客業等ではない。来客対応は担当外）親が入院している事情も話してあった中高年男性から「女のくせに、もっと気をつかわないのか。おばさんまっしぐらだな」と言われました。その男性は、嫁に自分の親のこともまかせきりの人です。病院関係の苦勞が一切分からない男性なのだなと思いました。男性は仕事だけしているから、女性の苦勞が余計に分からないのではないのでしょうか。</p>			
121	25～29歳	女性	気遣いは女性だけに必要なものですか？
<p>「女の子は気遣いできない」と幼い頃から父親、母親、祖母に言われて育てられました。弟は一切言われなかったです。なぜ、主語が「女の子は」なのか、モヤモヤしていました。気遣いなら、男女かわりなくできたほうが良いことなのに。飲み会等でも、忘れ物のチェックや飲み物のお酌等、女性がやって当たり前です。あえてやらないことにしてみたとき「”女なのに”愛想がない」「”女性なのに”気が利かない」と言われました。おじさんたちの世話役（介抱役）として隣に座られます。若い男性は、年配女性の隣に座られることはありません。先輩（男女両方）から「若い女性が隣にいるとおじさんたちが喜ぶから」とは言われますが、同僚男性は「若い男性が隣だとおばさんたちが喜ぶから」と言われたことはないとのこと。おかしいです。</p>			
122	30～34歳	女性	相手が男性だと怒鳴り散らさないのはなぜ？
<p>「女は奉仕して当然、特に若い女は見下して当然」という中高年の男性が目立ちます。スーパーのレジの女性に筋違いなことで文句を言っていたり（昔と違って、今はビニール袋も有料化しているのに）コンビニでアルバイトの若い女性に「女なのにもっと愛嬌を出さんか」とからんでいたり。病院の受付で、順番を待たずに若い女性事務員に怒鳴っている中高年男性。イベント会場で、遅くに来て近くの駐車場が満杯の状況が明らかに分かるのに、誘導員の若い女性に「歩きたくないじゃ！さっさと近くにせえ」と怒鳴りつけている中高年男性。もう数えきれないです。奥さんも「仕方がない」と許してきているのか。男は女より偉い。怒鳴れば女は言うことを聞くという意識が見え見えます。</p>			
123	30～34歳	女性	我慢して黙っている女性は美しいのですね？
<p>“女性だから”パンプスもしくはハイヒールを履かなければいけないと言われた職場がありました。（長時間の立ち仕事。外反母趾の悪化、股関節を痛める等健康を害したため転職）”女性”は痛みよりも見た目をよく見せることが優先されて当たり前（むしろ男性は女性が苦痛を感じながら仕事をしていることすら気づいてない）の意識があります。私服が地味だと「女を捨てている」と言われたり、「女なんだからハイヒールはいてよ」と交際相手に私生活でも言われたり。「女性だからきつからうが美しくするのが当たり前」はしんどいです。</p>			
124	55～59歳	女性	女も車を買う
<p>私は通勤のために車が必要で、先日車を買って換えました。車の名義もお金の支払いも私なのですが、夫と2人で販売店に話を聞きに行くと、担当者は私ではなく夫に説明をします。私の車なのに、とモヤモヤしました。</p>			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
125	25～29歳	女性	女だから痩せないと
<p>摂食障害の友人がいます。彼氏から「女は痩せてないと」とモデル体型を求められています。以前、彼女が元気な頃にダイエットの話をした時は、BMIは標準値の範囲内の痩せに近い数値と本人は言っているもう十分美人でしたが・・・最近さらに痩せて。表情が苦しそうです。出産した別の友人も、「早く体型を元に戻したほうがいい」と出産後に体型のことを批判されて苦しんでいます。子どもを産んだばかりで大変なのに。女性は痩せていないと価値がないのでしょうか。</p>			
126	40～44歳	男性	
<p>男性トイレ清掃に女性スタッフが入ってきたこと。逆は許されないのにも関わらず、男性側なら大丈夫だろうという考え方が残っているのだなと感じた。</p>			
127	25～29歳	女性	男だからいいの？女だから舐められてるだけ？
<p>薬の副作用で太ってしまった時に、「男は多少ガタイがよくても何とも思わないけど、女の子なんだから体型管理しっかりしないと」とみんなの前で言われ笑い者にされた。</p>			
128	25～29歳	女性	男だからいいの？女だから舐められてるだけ？
<p>女は愛嬌があればなんとでもなるよねと言われた。一人の人間として指摘されるならわかるが、そこに男、女とわざわざつける意味がわからなくて腹が立ったが何も言い返せなくて悔しくなりました。</p>			
129	60～64歳	女性	身体の大きな男性が力もちとはかぎりません
<p>新入りの社会人サークルで、会場設営時に「力持ちの男の人」として体育系の体の大きな男性に椅子を運ぶよう女性の方が差配をされていました。見かけが細くても力持ちの女性もこの中にいるかもしれないし、男性でも腕を痛めているかもしれないし、椅子を運ぶくらいの筋力は、女性参加者さんにもみんなありそうでした。椅子を運ぶ筋力が個々の参加者にあるかないかより、男性か女性かで仕事の割り振りをするほうが、スムーズにいくらしい空気感が漂っているのを感じました。</p>			
130	55～59歳	男性	女性にも、将来の夢を
<p>知り合いの女性から、県外の大学に行きたい希望があったが、親から女性だから鹿児島県内の大学に行きなさいと言われたということを知りました。その女性は進みたい進学先を諦めて、やむなく鹿児島の大学に入学したということを知りました。</p>			
131	70歳以上	男性	女性はすごい
<p>ジムに通いダンスを習っています。男性の方が女性に比べて踊る能力が高いと思っていたのですが、ほとんど変わりません。これまで男性の方が優れていると思い込んでいたのが恥ずかしいです。</p>			
132	40～44歳	答えなし	時代背景の言葉の選び方
<p>男性の知り合いが「車で迎えに今から彼女が来る」と言って、来た相手が女性ではなく男性だった。彼女が当たり前のように女性だと自分は思い込んでしまった。それからは人との会話で「パートナー」と言う様に気がついています。</p>			
133	60～64歳	女性	お茶くみ役割の固定はなぜ
<p>ある集会で、60～70代くらいの女性が、「働きながら家事も仕事も両方できるわけなんかない」とこぼしながら、いそいそとお茶を汲んで、世話をしていた。性別役割分業を放棄しない限り、男性は「これが当然」と思い込んだまま動こうとはしないのを目の当たりにした。私は女性だけがお茶を汲む空間に違和感を覚え、一人ストライキ。やりたくないのやりませんでした。</p>			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
134	60～64歳	女性	共働きなのに女性だけが家事？
ある集会で、リーダーとサブリーダーのご夫婦の職業が同じで共働きなのに、いつも女性だけが湯茶のお世話をされていました。男性が、家事をされていないらしい様子が垣間見ると、説得力が減ってしまう気がします。			
135	60～64歳	女性	「男性がコーヒー係」はアトラクション？！
講座に参加した際、男性にコーヒーを淹れてもらって、シンプルに大変うれしかったです。もちろん女性が淹れてくれてもうれしいですが、そういう体験を鹿児島でしてこなかったから、なおさら新鮮に感じたのだと思います。そもそも「お茶くみは女性の役割」というアンコンシャスバイアスから生まれた感覚は、遊園地で未知のアトラクションに感動するのに近い感覚でした。			
136	50～54歳	女性	将来の夢は？
最近CMで、将来の夢は？パイロット！看護師とかで無意識に性別を想像していませんか？っ的な言葉にドキッとされました。そういうCMをもっと流してほしいです。			
137	30～34歳	答えない	女は仕事するなら家庭のこともしっかりと
メディアで「仕事と家庭の両立はどうされているんですか？」とインタビューで聞かれるのは圧倒的に女性ですよ。男性は家庭のことはしていなくても仕事だけでも許される。この質問の前提に「女性は仕事だけではなく家庭のこと（家事育児他）もちゃんとしていない」という意識を感じます。人間には限界があるのに、すべてをしっかりと完璧にという圧力を若い女性たちに与えてしまったら、「私は仕事だけでも精一杯だ。ハードルが高すぎる」と心配や不安になってしまう人たちが多くなって不思議なことではありません。今の若い人たちはネットで情報を得られるのだから余計にそう思うはずですよ。			
138	30～34歳	男性	自助の底力
鹿児島市電で優先席に座ろうとしようとしていたおばあちゃんがいきましたが、電車が揺れるので、倒れそうになってしまいました。以前までは、中々助けようという一歩が踏み出せなかったのですが、今回は体が勝手に動き、自然と支えていました。おばあちゃんからは「今時、みんなイヤホンとかスマホ触ってたりでこんなことしてくれる人少なくなってる、本当ありがたいわ、ありがとう！」と言ってもらえ、私は凄く嬉しかったし、94歳になるとおっしゃられていたので、いつまでも元気でいてほしいなと感じました。しかし、最後降りるときに「でもね？助けてくれる人がいないから私は今も強く一人で何でもできるのよ」と言われ、ハッとしました。女性は男性が守るもの、勝手にできない、と可能性を決めつけてしまったのは私だなと。			
139	18～19歳	女性	女の子だから男の子だからときをつけない
学校生活で、女の子なんだからしっかりと男の子なんだからってという言葉聞いてびっくりした			
140	35～39歳	女性	男子の性も尊重されないといけない
年配の先生が女子は更衣室で着がえて、男子は適当にその辺で着がえなさい！という風に言っているという話を聞いて、着替えが嫌という男子もいるのに無意識で女子はダメだけど男子は大丈夫！という考えがあるのだなと思いました。			
141	18～19歳	男性	男と女の待遇差
大学の研究で、男だからという理由で同期の女性より多大な仕事を任せられた。			

番号	年代	性別	エピソードタイトル
エピソード			
142	60～64歳	女性	「男が代表」と女性自ら言うのはどうして？
講座で、受講生の代表を決めるとき、複数の女性たちが「男一人だから」と、男性を推した。その人自身も推薦を嫌がらなかった。どうして男一人だから代表なんですか、と聞いてみたかったがよそ者なので勇気はなかった。10年前にも全く同じ光景を見た地域で、デジャブかと思いました。			
143	40～44歳	女性	世代間の考え方の違い
地域活動において地元の年配の方から、母親がもっと積極的に活動するように言われた。仕事をしているお母さんが多いことを言っても、自分たちの時は全部母親がしていたなどと言われ、理解してもらえなかった。			
144	70歳以上	女性	町内の対策
昨年町内役員を決める際、「事前の話し合いを男性だけでしよう」とグループLINEで話し合いをしたと聞き、「それはおかしいですね」と意見を述べました。中心人物の方が「男女共同参画のことは知っているが」と言うので、「実行しないと知識だけでは」と言ったところ、今年から役員になりました。それならやってみろという感じです			
145	50～54歳	女性	町内会の息苦しい性別役割分担
町内会の役員となりました。毎月の町内会の定例会に出ましたが、誰が言うともなく、会の準備に早めに来るのは女性だけで、会が終わると男性たちはさっさと帰宅し、片付けも女性のみ。また、公民館での会費などの集金作業もなぜか女性の役員だけで分担でした。この町内会は、役員の年齢が比較的若く、40～60歳代で、性別の構成も半々ですが、この様子だったのもものすごく驚きました。もっと考えさせられたのは、女性だけでやることに対する疑問や改善の意見を言わせない、先輩女性の圧力でした。			
146	70歳以上	男性	女性の更なる役職登用
次期町内会役員を選ぶ際、女性を選ぼうとする意識が薄いように感じた			
147	20～24歳	女性	いまだに男尊女卑（女子の四大学率低）
・女に学問はいらないとのアンコンシャスバイアス。（保育・看護・栄養・介護・教員なら許可）親の収入は十分有。弟は、好きな分野での四大進学が前提（しかも私大もOK）なのに、私は、高校は進学校で旧帝大もA判定だったのに、県立短大か高卒で公務員になれ。百歩譲って、地元の鹿児島大学でも「女の子なのに」果報者だと大事な受験期に母親が大反対。受験勉強も意図的に邪魔され、成績にも影響が出るほどでした。（父親は無関心）。「女の子だから」将来の介護も期待されています。			
148	60～64歳	女性	受付ボーイはなぜいない？
様々な施設の「受付案内係」の方は、なぜかすべて女性です。男性が受付業務をされているのを、鹿児島市内で一度も見たことがありません。直接使っているのを聞いたわけではありませんが、「受付嬢」という偏った名称も「看護婦」「保母」と同じ性別役割分業の名残に感じます。			
149	60～64歳	答えない	金太郎飴ポスター飽きた
市内に貼られている医療人材派遣業のポスターの写真のモデルは「胸の大きめな女性看護師」と「眼鏡で知的な印象の、女性より背の高い男性医師」の組み合わせだ。「医者は男性、看護師は女性」「男は知的リーダー、女性はサポート」のイメージの刷り込みに、ついてゆけない。病院で配られるリーフレットの類も、医師は男性ばかり。どちらがどちらの職種でもいいのに、固定的な性別役割分業そのもののデザインがいまだに氾濫している。切っても切っても金太郎飴のような同じイメージのデザインに、もう飽きた。			